

一般コミュニティ助成事業助成金交付決定

柿の浦太鼓代表 鈴木 一成

令和2年9月28日付で申請のした交付金決定の通知が令和2年12月18日あった。

毎年申請していた5年目の交付の金額は、金2,500,000円であった。

今から5年前大野第一区は、次の時代を担う子ども達が住みやすく、高齢者対象の施設慰問等の社会貢献、また、地域の伝統的な行事等への積極的な参加を促進するための一助になるような地域の活性化に寄与する、生き活きとした活動の場を創設したいと「柿の浦太鼓」のグループを立ち上げた。

その時、取り組むべき課題の重要性・緊急性は何かと関係者が集い、①地域に伝わる伝統的な宮島踊りの調べを和太鼓で表現し、その継承に努めている。②地域の歴史的背景を及び地理的な特殊性を踏まえた和太鼓の曲「郷の響き」翔ける他数曲のオリジナルな曲を作り、その普及拡大に努めながら地域の応援団と自認し地域づくり目指すと決めた。

経年劣化した大太鼓、長胴太鼓、締太鼓を更新し、大締太鼓1台、長胴太鼓3台、二丁掛太鼓3台を新たに導入し、波穏やかな瀬戸の海、優美な水中花火大会、幻想的な管弦祭をこれらの太鼓を織り交ぜながら、子ども達の元気なイメージを複数の和太鼓でより効果的に表現するために整備の必要性を考えるが、とても大きな金額なので躊躇していると、標記の助成金の申請を太鼓の指導を受けている先生から紹介され、毎年の申請となった。

令和3年3月21日太鼓等が柿の浦集会所に納入され、メンバーや保護者の協力を得て今回助成金のシンボルマーク「くうちゃん」のシールをすべての物品に添付した。

また、柿の浦太鼓は、未就学児、小中学生をはじめとして、将来のしどうしゃの育成を見据えて、新たに募集をしています。詳しくは、大野第一区ホームページを参照してください。



二丁掛締太鼓



大太鼓



長胴太鼓